

Table with columns for prefecture/city (e.g., 滋賀県, 京都府, 京都市, 大阪府, 豊能地区, 大阪市, 堺市, 兵庫県, 神戸市, 奈良県), exam stages (1次試験, 2次試験), and subjects (国語, 社会, 数学, etc.).

Table with columns for exam stages (実技試験, 中学校, 高等学校), subjects (音楽, 美術, 家庭, etc.), and main changes (主な変更点).

京都府：2次に教育実践力テストあり。大阪府：上段は2次，下段は3次の日程。... 奈良県：2次の個人面接で，英語受験者には英語での質疑応答あり。

都道府県市	1次試験		2次試験		筆記試験				面接試験					適性検査	実技試験							主な変更点		
	日程	合格発表	日程	合格発表	教職	一般	専門	論文	集団面接	集団討論	個人面接	模擬授業	場面指導		小学校									
															水泳	体育	音楽	園工	その他					
和歌山県	6/24	7/21	8/8, 9, 17, 18, 21, 22	9/21	●	●	●	▲	▲	—	▲	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①1次の筆記試験について、これまでの「一般教養試験」「教職専門試験」を統合して「総合教養試験」とする。これに伴い、免除制度、加点制度、特別選考を一部変更。②2次試験の実技のうち、④の「水泳」及び「オルガン」、⑤の「水泳」を廃止。③新たな募集枠として「楽義教諭」を新設。④特別選考に「社会人経験」区分を新設。
鳥取県	6/11	7/14	8/4~12	9/15	●	●	●	—	▲	▲	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	①試験実施からA登載者発表までの試験日程を早める。全試験区分の1次試験を同一日で実施し、関西会場でも全試験区分の試験を実施。②適性検査を2次試験に変更し、1次試験結果発表後、指定期間内でのWeb実施とする。③一般選考における⑤と⑥の「英語」において、一定の英語に係る資格を有する者を対象に1次試験のすべてを免除。④「県内公立学校の講師等を対象とした選考」における受験資格に上限回数を超える。⑤「教職大学院修了者を対象とした選考」を廃止。⑥「普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考」の対象に⑦「技術」「家庭」及び⑧「家庭」を追加。⑦一般選考の併願制度において、⑧志願者による⑨、⑩への併願を廃止。⑧2次試験の技能・実技試験(ICT活用)を全試験区分で実施。⑨⑩の一部の試験区分において、専門試験(筆記)の試験時間を短縮。
鳥根県	7/8	7/26	8/19~27	10/4	●	●	●	●	—	—	▲	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	①鳥根創生特別枠「第84回国民スポーツ大会(愛称:鳥根かみあり国スポ)競技力向上枠」を新設。②出願要件等の変更。③2次試験の県外の試験会場について、④限定で、「東京」「大阪」会場を追加。④受験上の特例措置を新設。⑤第84回国民スポーツ大会に向けた指導者等への特例を実施。⑥1次試験への加対象に「大学等卒業後から継続して3~10年間、民間企業等に勤務している者」を追加。⑦特別選考試験の出願資格や対象区分を変更。
岡山県	7/8, 9, 15	8/9	8/19~23	10/6	●	—	●	—	—	▲	▲	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①②「地理歴史」「公民」について、筆記試験において地理歴史・公民の両分野から出題する(出題内容の一部に「日本史・世界史・地理・公民」の基礎的な内容を含む)。③インターネットによる電子申請での出願のみとし、郵送での出願を廃止する。④新たに「情報」の資格による加点を実施。⑤選考に当たって考慮する事項:高校の出願者に「高等学校「情報」の教諭普通免許状の所有(取得見込み可)」を追加する。小学校の出願者に「いずれかの教科の中学校教諭普通免許状を所有していること」を追加する。⑥新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き2次試験の小論文を中止する。
岡山市	7/8, 15, 16	8/2	8/11~13, 19, 20	9/21	●	▲	—	—	—	●	▲	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①受験資格の年齢制限を60歳未満に変更。②③の受験区分に限り複数免許加点制度を新設。④第二次試験の実技試験(音楽・体育)を廃止。⑤特別選考の新設及び変更。
広島県・広島市	7/15	8/4	8/18~20	9/26	●	—	●	—	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①一般選考及び大学等推薦特別選考における④、⑤及び⑥の受験者のうち、特別支援学校教諭普通免許状の所有者(取得見込み可)は、1次試験の筆記試験の得点に加点。②大学等推薦特別選考の実施教科・科目に「高校工業」を追加。③社会人を対象とした特別選考の対象に「高校福祉」を追加。
山口県	7/8, 9	8/2	8/19~22	10/3	●	●	●	▲	—	●	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①教職チャレンジサポート特別選考を新設。②国公立学校本採用教員経験者を対象に、1次試験の教職専門を免除。③国公立学校本採用教員経験者のうち、志願区分と同一かつ3年以上の勤務経験を有する者を対象に、1次試験を免除。④臨時的任用教員等を対象とした教職専門免除における在職期間の見直し及び対象者を拡大。⑤スポーツ・芸術特別選考及び看護科教諭特別選考における1次試験の試験項目のうち、「個人面接」を「教科専門」(筆記試験)に変更。⑥スポーツ実績・芸術実績資格所有者については、選考に当たって考慮しているが、このうち、スポーツ・芸術特別選考の対象者については特に考慮する。
徳島県	7/15, 16	8/4	8/15~25	9/29	●	—	●	●	—	—	▲	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	①1次試験での「一般教養審査」を廃止。②特別選考の区分を変更。③④の募集対象に「医療的ケア(自立活動)担当教諭」を新設。⑤の募集は、全校種一括から「小・中学校」と「高・特支」に分けて実施。
香川県	7/15~21	8/上	8/20~23, 26, 27, 8/18~23	9/中	●	●	—	—	●	▲	▲	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①②において、大学等推薦特別選考を実施(秋募集でも実施)。③④及び⑤において、前年度の1次試験に合格した香川県講師を対象に、1次試験を免除する特別選考を実施。⑥⑦において「美術」「技術」「家庭」を除いた教科・科目の出願者のうち、出願時に「美術」「技術」「家庭」の中学校教諭普通免許状を有する者(取得見込みの者)に対して、加点申請制度を実施。⑧⑨において、出願時に提出する教科以外の教科の高等学校教諭普通免許状を有する者(取得見込みの者)に対して、加点申請制度を実施。
愛媛県	7/21, 22	8/10	8/22~25	9/下	●	—	●	▲	●	—	▲	—	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①前期選考試験の1次試験における東京会場を廃止。②教職経験者特別選考の免除内容を変更。③大学等推薦特別選考の対象となる試験区分を拡大、免除内容を追加。④現職教員特別選考の志願対象者を、他の都道府県の「私立学校」の教員にも拡大する。⑤受験者については、2次試験の「実技試験等」も免除する。⑥⑦「地理歴史」及び「公民」志願者に対する加点条件を追加。⑧前期2次試験合格者のうち、愛媛大学教職大学院に令和6年度に進学する者で、令和7年4月1日から愛媛大学教職大学院の指導を受けながら愛媛県公立学校で勤務できる者の採用を1年間猶予する。

実技試験														養護教諭	主な変更点	
中学校							高等学校									
音楽	美術	家庭	技術	保体	英語	その他	音楽	美術	家庭	保体	英語	工業	書道			その他
▲	▲	—	—	▲	—	—	▲	▲	—	▲	—	▲	—	—	—	①1次の筆記試験について、これまでの「一般教養試験」「教職専門試験」を統合して「総合教養試験」とする。これに伴い、免除制度、加点制度、特別選考を一部変更。②2次試験の実技のうち、④の「水泳」及び「オルガン」、⑤の「水泳」を廃止。③新たな募集枠として「楽義教諭」を新設。④特別選考に「社会人経験」区分を新設。
▲	▲	▲	▲	▲	—	—	▲	▲	▲	▲	▲	—	▲	▲	▲	①試験実施からA登載者発表までの試験日程を早める。全試験区分の1次試験を同一日で実施し、関西会場でも全試験区分の試験を実施。②適性検査を2次試験に変更し、1次試験結果発表後、指定期間内でのWeb実施とする。③一般選考における⑤と⑥の「英語」において、一定の英語に係る資格を有する者を対象に1次試験のすべてを免除。④「県内公立学校の講師等を対象とした選考」における受験資格に上限回数を超える。⑤「教職大学院修了者を対象とした選考」を廃止。⑥「普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考」の対象に⑦「技術」「家庭」及び⑧「家庭」を追加。⑦一般選考の併願制度において、⑧志願者による⑨、⑩への併願を廃止。⑧2次試験の技能・実技試験(ICT活用)を全試験区分で実施。⑨⑩の一部の試験区分において、専門試験(筆記)の試験時間を短縮。
▲	▲	—	—	▲	▲	—	▲	▲	—	▲	▲	—	▲	▲	—	①鳥根創生特別枠「第84回国民スポーツ大会(愛称:鳥根かみあり国スポ)競技力向上枠」を新設。②出願要件等の変更。③2次試験の県外の試験会場について、④限定で、「東京」「大阪」会場を追加。④受験上の特例措置を新設。⑤第84回国民スポーツ大会に向けた指導者等への特例を実施。⑥1次試験への加対象に「大学等卒業後から継続して3~10年間、民間企業等に勤務している者」を追加。⑦特別選考試験の出願資格や対象区分を変更。
▲	▲	▲	—	▲	—	—	▲	▲	—	▲	▲	—	▲	▲	—	①②「地理歴史」「公民」について、筆記試験において地理歴史・公民の両分野から出題する(出題内容の一部に「日本史・世界史・地理・公民」の基礎的な内容を含む)。③インターネットによる電子申請での出願のみとし、郵送での出願を廃止する。④新たに「情報」の資格による加点を実施。⑤選考に当たって考慮する事項:高校の出願者に「高等学校「情報」の教諭普通免許状の所有(取得見込み可)」を追加する。小学校の出願者に「いずれかの教科の中学校教諭普通免許状を所有していること」を追加する。⑥新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き2次試験の小論文を中止する。
▲	▲	▲	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①受験資格の年齢制限を60歳未満に変更。②③の受験区分に限り複数免許加点制度を新設。④第二次試験の実技試験(音楽・体育)を廃止。⑤特別選考の新設及び変更。
▲	▲	▲	▲	▲	▲	—	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	①一般選考及び大学等推薦特別選考における④、⑤及び⑥の受験者のうち、特別支援学校教諭普通免許状の所有者(取得見込み可)は、1次試験の筆記試験の得点に加点。②大学等推薦特別選考の実施教科・科目に「高校工業」を追加。③社会人を対象とした特別選考の対象に「高校福祉」を追加。
●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	—	—	—	●	①教職チャレンジサポート特別選考を新設。②国公立学校本採用教員経験者を対象に、1次試験の教職専門を免除。③国公立学校本採用教員経験者のうち、志願区分と同一かつ3年以上の勤務経験を有する者を対象に、1次試験を免除。④臨時的任用教員等を対象とした教職専門免除における在職期間の見直し及び対象者を拡大。⑤スポーツ・芸術特別選考及び看護科教諭特別選考における1次試験の試験項目のうち、「個人面接」を「教科専門」(筆記試験)に変更。⑥スポーツ実績・芸術実績資格所有者については、選考に当たって考慮しているが、このうち、スポーツ・芸術特別選考の対象者については特に考慮する。
●	●	—	—	●	—	—	●	●	—	●	—	—	●	—	—	①1次試験での「一般教養審査」を廃止。②特別選考の区分を変更。③④の募集対象に「医療的ケア(自立活動)担当教諭」を新設。⑤の募集は、全校種一括から「小・中学校」と「高・特支」に分けて実施。
●	●	●	●	●	▲	—	●	●	●	●	▲	—	—	●	—	①②において、大学等推薦特別選考を実施(秋募集でも実施)。③④及び⑤において、前年度の1次試験に合格した香川県講師を対象に、1次試験を免除する特別選考を実施。⑥⑦において「美術」「技術」「家庭」を除いた教科・科目の出願者のうち、出願時に「美術」「技術」「家庭」の中学校教諭普通免許状を有する者(取得見込みの者)に対して、加点申請制度を実施。⑧⑨において、出願時に提出する教科以外の教科の高等学校教諭普通免許状を有する者(取得見込みの者)に対して、加点申請制度を実施。
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	—	▲	—	▲	—	▲	—	▲	①前期選考試験の1次試験における東京会場を廃止。②教職経験者特別選考の免除内容を変更。③大学等推薦特別選考の対象となる試験区分を拡大、免除内容を追加。④現職教員特別選考の志願対象者を、他の都道府県の「私立学校」の教員にも拡大する。⑤受験者については、2次試験の「実技試験等」も免除する。⑥⑦「地理歴史」及び「公民」志願者に対する加点条件を追加。⑧前期2次試験合格者のうち、愛媛大学教職大学院に令和6年度に進学する者で、令和7年4月1日から愛媛大学教職大学院の指導を受けながら愛媛県公立学校で勤務できる者の採用を1年間猶予する。

鳥取県：適性検査はオンラインで実施。⑩は2次の個人面接の中でロールプレイングあり。鳥根県：1次の筆記は、「専門教養・教職教養・論述試験」という1つの試験として実施。岡山県：2次では口頭試問を実施。岡山市：2次では口頭試問を実施。広島県・広島市：⑩の実技はそれぞれ⑩に準ずる。山口県：⑩の実技はそれぞれ⑩に準ずる。香川県：2次の上段は⑩⑪⑫、下段は⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺の英語受験者は2次に英語の面接もあり(実技にマーク)。⑩の実技はそれぞれ⑩に準ずる(福祉を除く)。愛媛県：⑩⑪の実技は⑩に準ずる。

都道府県市	1次試験		2次試験		筆記試験				面接試験					適性検査	実技試験						主な変更点				
	日程	合格発表	日程	合格発表	教職	一般	専門	論文	集団面接	集団討論	個人面接	模擬授業	場面指導		小学校										
															水泳	体育	音楽	園工	その他	音楽		美術	家庭	技術	英語
高知県	6/17	7/7	8/4~6.19.20	9/29.10/27.1/19	●	●	●	—	—	—	▲	▲	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①㉑志願者のうち、㉒の普通免許状所有者(取得見込を含む)は、㉓を第2志望とすることができるようになる。/②社会人特例出願の対象に、㉔「情報」を追加。
福岡県	7/9	8/上	8/中~9/上	10/上	●	●	●	—	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①要項発出時期を前倒し、出願期間を延長。/②「大学等推薦特別選考」を導入。/③「高度専門職経験者特別選考」の受験資格を緩和。/④「社会人経験者特別選考」を導入。/⑤㉑の特例区分・選考区分を拡大。/⑥特別支援学校教諭普通免許状所有者への加点を実施。/⑦1次試験で実施していた㉑の「音楽」「美術」の実技試験を2次試験に移行する。また㉒と㉓の「理科」と㉔の「技術」については、実技試験の実施を取りやめる。
福岡市	7/9	7/下~8/初	8/3~27	9/下	●	●	●	●	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①第1次試験における特支専門を廃止。/②学生サポーターに加え、部活動支援員、補助支援員(放課後児童クラブ※旧:留守家庭子ども会)等を優遇措置の対象に追加。/③前年度1次試験合格者への優遇措置対象について、常勤講師に限定していたものを非常勤講師(週勤務16時間以上)にも拡大。
北九州市	7/9	7/下	8/5~20	10/上	●	●	●	—	—	▲	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①昨年度の試験から導入された「小学校教員(小中一貫枠)」の採用予定者数を拡充。/②特別選考Ⅳ「大学等推薦特別選考」のうち、㉑と㉒の推薦可能人数の制限を撤廃し、推薦可能人数を拡充。/③特別選考「複数免許状所有者特別選考」の対象者を追加。/④㉑及び㉒で実施していた2次試験の実技試験を廃止。/⑤㉑及び㉒において、一定の英語力を有する者について、1次試験において優遇措置を受けることができる制度を導入。
佐賀県	7/9	8/1	8/19~22	9/15	●	●	●	▲	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①「さかU」ターン現職特別選考を、㉑に加え㉒にも対象を拡げて実施。/②社会人特別選考の対象を㉑「工業」に加え、㉒「英語」「技術」にも拡大。/③秋の採用選考の時期にも「さかU」ターン現職特別選考を㉑と㉒を対象に実施。/④「身体障害者特別選考」を「障害者特別選考」に改め、受験資格を変更。
長崎県	7/9	7/28	8/23~9/4	10/6	●	●	●	—	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①体免(㉑-㉒)の「保健体育」志願者に関する免除申請の免除内容を変更。/②特免(特別な分野に関する免除申請)を新設。/③社会人特別採用選考の申請要件を拡充。/④英語資格等保有者特別採用選考の申請要件を変更。/⑤本県(長崎県)本務教員退職者特別採用選考の申請要件を変更。/⑥(㉑-㉒)本県(国公立学校本務教員)に関する免除申請申請者の第2次試験について、オンラインでの実施に変更。/⑦㉑の合格者名簿について、現行の区分Ⅰに加えて、区分Ⅱによる合格者名簿を作成。/⑧名簿登載期間更新制度の対象を拡充。/⑨㉑第1志望者の㉒第2志望に係る要件を変更。
熊本県	7/9	7/24	8/13.14~18	10/上	●	—	●	▲	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①㉑合格者への配置先の希望聴取を実施。/②本県(熊本県)臨時的任用教員を対象とした免除制度の条件を緩和。/③教職経験者を対象とした免除制度を拡大。/④教職大学院修了(予定)者を対象とした特別選考を導入。/⑤㉑1次試験の専門教科等の考査内容に「特別の教科 道徳」を追加。
熊本市	7/9	7/26	8/16.17~29	10/上	●	—	●	▲	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①申込受付期間を2週間延長。/②熊本市の臨時的任用教員等を対象とした1次試験の全免除を、36か月以上経験から24か月以上経験に変更。/③(㉑-㉒)英語受験者に対する実技試験を、模擬授業時の英語によるコミュニケーション・対話に変更。
大分県	7/9	7/24	8/5~12	9/15	●	●	●	—	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①第3次試験を廃止。/②1次試験を大分県内の会場に加えて「大阪会場」でも実施。/③大分県内の公立学校正規教諭の退職者を対象とした「特別選考Ⅴ(元県内正規教諭特別選考)」を実施。/④教職大学院修了者(予定者を含む)を対象とした「特別選考Ⅵ(教職大学院修了(予定)者特別選考)」を実施。
宮崎県	7/9	8/2	8/18~30	9/下	●	—	●	—	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①1次試験を、7月9日の1日で実施(前年度試験では2日間)。/②1次試験では、実技試験はすべての受験区分において実施しない。/③すべての受験区分において、専門筆答試験の時間を90分から70分に変更。/④県外会場(東京・大阪・福岡)で受験できる受験教科(科目)等を拡大。/⑤㉑「国語」は㉒「国語」との併願受験を可能とする。/⑥2次試験で実施していた適性検査を廃止。/⑦特別選考A、Bの対象を変更。/⑧一部の受験区分において、新たに一般選考追加試験を実施。
鹿児島県	7/9	8/上	8/23~9/7	9/末	●	●	●	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①「大学等推薦特別選考」を実施(㉑)。/②県外で1次試験を実施(㉑)。/③「現職教員特別選考」(㉑及び㉒)において、他都道府県の公立学校教員で本県(鹿児島県)㉑及び㉒を志望する者について、1次試験を免除する。/④㉑及び㉒の2次試験における体育実技を廃止。/⑤㉑「情報」において「社会人特別選考」を実施。
沖縄県	7/9	8/中	9/2.3	10/下	●	●	●	—	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①一般選考の受験資格にある受験年齢上限を45歳から59歳に引き上げ。/②第1次試験における一部試験免除の資格要件を緩和。/③特別選考(㉑-㉒)の対象校種・教科について、これまで㉑のみとしていたものを㉑及び㉒に変更。/④㉑(全教科)を受験する者の㉑への併願受験を実施。/⑤「令和6年度実施教員候補者選考試験の第1次試験免除対象者」の対象校種を、㉑にも拡大(現行では㉑のみ)。/⑥特別選考「沖縄県正規任用教諭経験者を対象とした特別選考」について、介護・育児・配偶者の転勤等を理由に退職した者の退職日による制限を撤廃。/⑦2次試験の実施内容を、原則「個人面接(模擬授業等含む)」に統一。

実技試験																	主な変更点
中学校							高等学校							養護教諭			
音楽	美術	家庭	技術	保体	英語	その他	音楽	美術	家庭	保体	英語	工業	書道		その他	養護教諭	
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	—	▲	▲	—	—	①㉑志願者のうち、㉒の普通免許状所有者(取得見込を含む)は、㉓を第2志望とすることができるようになる。/②社会人特例出願の対象に、㉔「情報」を追加。
▲	▲	▲	—	▲	●	—	▲	▲	▲	▲	●	▲	▲	—	—	—	①要項発出時期を前倒し、出願期間を延長。/②「大学等推薦特別選考」を導入。/③「高度専門職経験者特別選考」の受験資格を緩和。/④「社会人経験者特別選考」を導入。/⑤㉑の特例区分・選考区分を拡大。/⑥特別支援学校教諭普通免許状所有者への加点を実施。/⑦1次試験で実施していた㉑の「音楽」「美術」の実技試験を2次試験に移行する。また㉒と㉓の「理科」と㉔の「技術」については、実技試験の実施を取りやめる。
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	▲	—	—	—	—	▲	①第1次試験における特支専門を廃止。/②学生サポーターに加え、部活動支援員、補助支援員(放課後児童クラブ※旧:留守家庭子ども会)等を優遇措置の対象に追加。/③前年度1次試験合格者への優遇措置対象について、常勤講師に限定していたものを非常勤講師(週勤務16時間以上)にも拡大。
▲	▲	—	—	▲	●	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①昨年度の試験から導入された「小学校教員(小中一貫枠)」の採用予定者数を拡充。/②特別選考Ⅳ「大学等推薦特別選考」のうち、㉑と㉒の推薦可能人数の制限を撤廃し、推薦可能人数を拡充。/③特別選考「複数免許状所有者特別選考」の対象者を追加。/④㉑及び㉒で実施していた2次試験の実技試験を廃止。/⑤㉑及び㉒において、一定の英語力を有する者について、1次試験において優遇措置を受けることができる制度を導入。
●	●	—	—	●	●	—	●	●	—	●	●	—	●	—	—	—	①「さかU」ターン現職特別選考を、㉑に加え㉒にも対象を拡げて実施。/②社会人特別選考の対象を㉑「工業」に加え、㉒「英語」「技術」にも拡大。/③秋の採用選考の時期にも「さかU」ターン現職特別選考を㉑と㉒を対象に実施。/④「身体障害者特別選考」を「障害者特別選考」に改め、受験資格を変更。
●	●	▲	▲	●	●	—	●	●	▲	●	●	—	—	—	—	—	①体免(㉑-㉒)の「保健体育」志願者に関する免除申請の免除内容を変更。/②特免(特別な分野に関する免除申請)を新設。/③社会人特別採用選考の申請要件を拡充。/④英語資格等保有者特別採用選考の申請要件を変更。/⑤本県(長崎県)本務教員退職者特別採用選考の申請要件を変更。/⑥(㉑-㉒)本県(国公立学校本務教員)に関する免除申請申請者の第2次試験について、オンラインでの実施に変更。/⑦㉑の合格者名簿について、現行の区分Ⅰに加えて、区分Ⅱによる合格者名簿を作成。/⑧名簿登載期間更新制度の対象を拡充。/⑨㉑第1志望者の㉒第2志望に係る要件を変更。
●	●	—	—	●	●	—	●	●	▲	●	●	—	●	—	—	—	①㉑合格者への配置先の希望聴取を実施。/②本県(熊本県)臨時的任用教員を対象とした免除制度の条件を緩和。/③教職経験者を対象とした免除制度を拡大。/④教職大学院修了(予定)者を対象とした特別選考を導入。/⑤㉑1次試験の専門教科等の考査内容に「特別の教科 道徳」を追加。
▲	▲	—	—	▲	—	—	—	▲	▲	—	—	—	—	—	—	—	①申込受付期間を2週間延長。/②熊本市の臨時的任用教員等を対象とした1次試験の全免除を、36か月以上経験から24か月以上経験に変更。/③(㉑-㉒)英語受験者に対する実技試験を、模擬授業時の英語によるコミュニケーション・対話に変更。
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	—	▲	—	—	—	①第3次試験を廃止。/②1次試験を大分県内の会場に加えて「大阪会場」でも実施。/③大分県内の公立学校正規教諭の退職者を対象とした「特別選考Ⅴ(元県内正規教諭特別選考)」を実施。/④教職大学院修了者(予定者を含む)を対象とした「特別選考Ⅵ(教職大学院修了(予定)者特別選考)」を実施。
▲	▲	—	—	—	▲	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	—	—	①1次試験を、7月9日の1日で実施(前年度試験では2日間)。/②1次試験では、実技試験はすべての受験区分において実施しない。/③すべての受験区分において、専門筆答試験の時間を90分から70分に変更。/④県外会場(東京・大阪・福岡)で受験できる受験教科(科目)等を拡大。/⑤㉑「国語」は㉒「国語」との併願受験を可能とする。/⑥2次試験で実施していた適性検査を廃止。/⑦特別選考A、Bの対象を変更。/⑧一部の受験区分において、新たに一般選考追加試験を実施。
●	●	▲	—	●	▲	—	●	●	▲	●	▲	—	●	—	—	—	①「大学等推薦特別選考」を実施(㉑)。/②県外で1次試験を実施(㉑)。/③「現職教員特別選考」(㉑及び㉒)において、他都道府県の公立学校教員で本県(鹿児島県)㉑及び㉒を志望する者について、1次試験を免除する。/④㉑及び㉒の2次試験における体育実技を廃止。/⑤㉑「情報」において「社会人特別選考」を実施。
▲	▲	▲	▲	▲	▲	—	▲	▲	▲	▲	▲	—	—	—	—	—	①一般選考の受験資格にある受験年齢上限を45歳から59歳に引き上げ。/②第1次試験における一部試験免除の資格要件を緩和。/③特別選考(㉑-㉒)の対象校種・教科について、これまで㉑のみとしていたものを㉑及び㉒に変更。/④㉑(全教科)を受験する者の㉑への併願受験を実施。/⑤「令和6年度実施教員候補者選考試験の第1次試験免除対象者」の対象校種を、㉑にも拡大(現行では㉑のみ)。/⑥特別選考「沖縄県正規任用教諭経験者を対象とした特別選考」について、介護・育児・配偶者の転勤等を理由に退職した者の退職日による制限を撤廃。/⑦2次試験の実施内容を、原則「個人面接(模擬授業等含む)」に統一。

高知県：模擬授業は口頭試問を含む。福岡市：2次の模擬授業には指導案作成、口頭試問を含む。㉑志望者は「中高枠」を希望可。㉒2次の実技詳細不明。北九州市：㉑は併願ありの場合のみ㉒に準じた実技を実施。長崎県：㉑専門試験は特A(㉑に関する科目)か特B(㉑㉒の専門教科)の1つを選択。2次の個人面接に㉑㉒は教科に関する課題面接、㉑英語受験者は英語の質疑応答(実技にマーク)、㉒は児童生徒への対応・技能等に関する課題面接、㉑は模擬授業を含む。適性検査はオンラインで実施。熊本県：㉑㉒1次の専門試験でリスニングあり(実技にマーク)。熊本市：㉑2次に実技あり。大分県：(㉑-㉒)2次に音楽、保健体育、英語の実

技あり。宮崎県：㉑の実技は㉑㉒に準ずる。㉑㉒英語受験者は1次にリスニングあり。㉑2次の個人面接で簡単な英会話、㉑英語受験者は英会話あり。実技にマーク。鹿児島県：㉑1次で音楽、美術、保健体育、2次で家庭、英語の実技あり。㉑(㉑-㉒)2次の個人面接で簡単な英語スピーチ。実技にマーク。沖縄県：(㉑-㉒)2次で保健体育、音楽、美術の実技あり。